

2012年3月期 第1四半期決算
説明資料

2011年7月28日
株式会社CSK

目 次

業績サマリー	P2
決算のポイント.....	P3
販売管理費、営業外損益、特別損益の内訳...	P5～ 6
セグメント別業績.....	P7～11
キャッシュ・フロー	P12
有利子負債の残高.....	P13
2012年3月期 通期業績予想.....	P14

< 免責事項 >

本資料は、業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、CSK及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

(単位: 億円)

	2010/6	2011/6	前年同期比	増減率
売上高	326	323	△2	△0.8%
売上総利益	71	76	5	7.1%
売上総利益率	21.9%	23.7%	1.8%	—
販売管理費	70	58	△11	△16.7%
営業利益	0	17	16	—
営業利益率	0.2%	5.4%	5.2%	—
経常利益	1	22	21	—
四半期純利益	△83	14	97	—

(単位: 円)

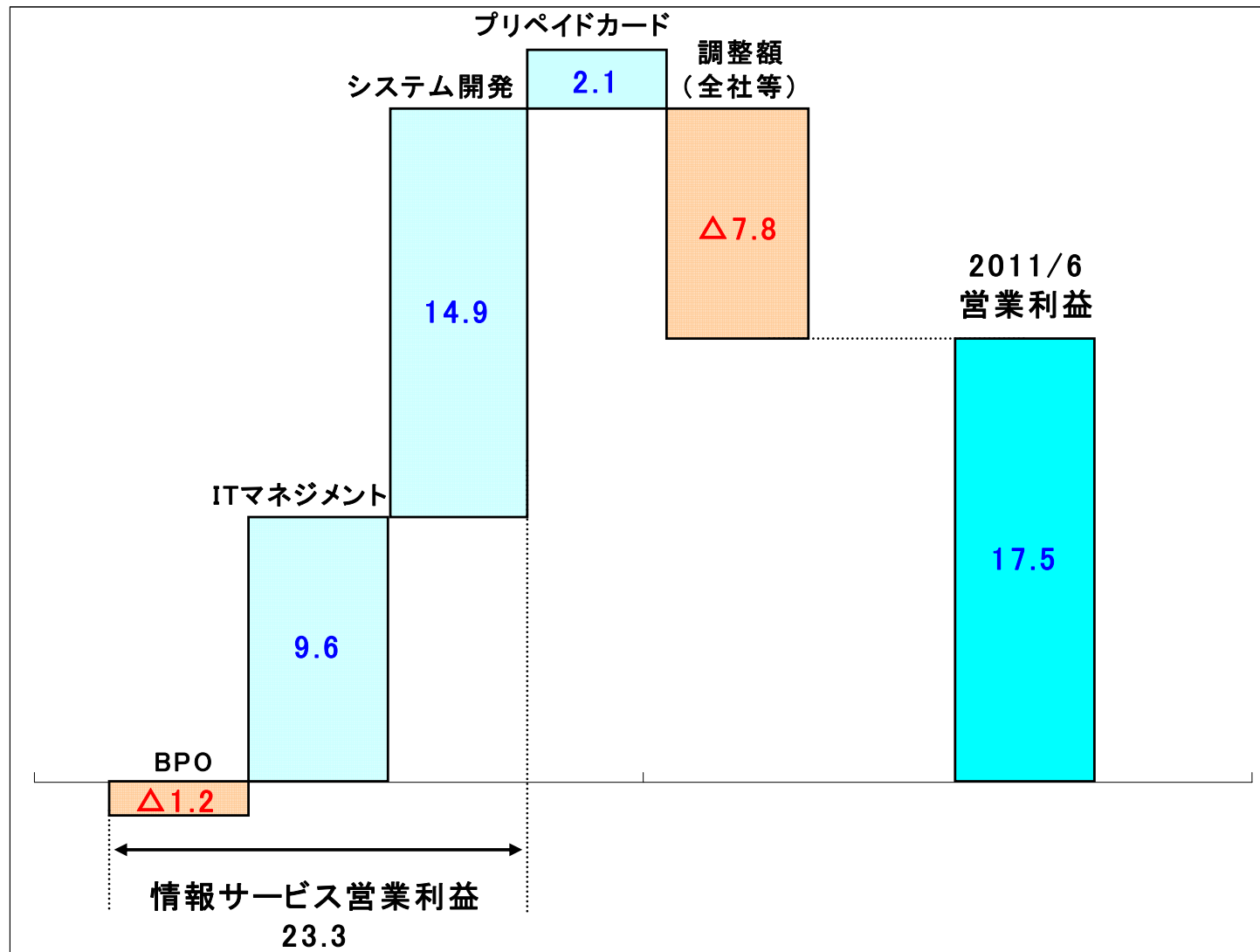
	2010/6	2011/6	前年同期比
1株当たり 四半期純利益	△66.26	8.59	74.85

- 売上高は、情報サービス事業においては、前第一四半期と同水準を確保し、前年同期比0.7%増収となりました。
一方、前期には撤退事業の売上高の一部が残存している等の理由により、売上高全体としては、前年同期比 $\Delta 0.8$ %減収となり、ほぼ前第1四半期並みの水準となりました。
- 営業利益は、コスト構造見直しや資産スリム化による人件費、減価償却費、家賃等における原価及び販管費の減少により、前年同期比で大きく増益となりました。
- 四半期純利益は、前年同期に証券事業撤退損失89億円を特別損失に計上していた影響により、四半期純損益は大きく改善しました。

■ 営業利益のセグメント別内訳



(単位: 億円)



販売管理費・営業外損益の内訳



(単位:億円)

販売管理費	2010/6	2011/6	前年同期比	備考
人件費	39.5	34.5	△4.9	新卒含む採用の抑制、および人件費の削減により減少
業務委託料	0.0	1.7	1.6	
減価償却費	5.5	2.6	△2.9	新規投資縮小等による減少
家賃	6.4	4.9	△1.5	オフィス統廃合及び賃料見直しによる減少
その他	19.2	15.1	△4.1	主な内容: 支払手数料、消耗品費 等
販売管理費 計	70.8	58.9	△11.8	

営業外収益	2010/6	2011/6	前年同期比	備考
受取利息	0.3	0.1	△0.2	-
受取配当金	0.3	0.4	0.0	-
カード退蔵益	2.8	2.7	△0.1	-
投資有価証券売却益	0.0	4.0	4.0	資産のスリム化に伴う投資有価証券の売却
その他	1.8	3.6	1.7	主な内容: 投資事業組合収益、奨励金、違約金収入、税還付金 等
営業外収益 計	5.4	10.9	5.5	

営業外費用	2010/6	2011/6	前年同期比	備考
支払利息	2.5	2.1	△0.4	-
その他	2.4	4.1	1.7	主な内容: 投資有価証券売却損、投資有価証券評価損 等
営業外費用 計	5.0	6.3	1.2	
営業外損益 Net	0.3	4.6	4.2	

特別損益の内訳



(単位:億円)

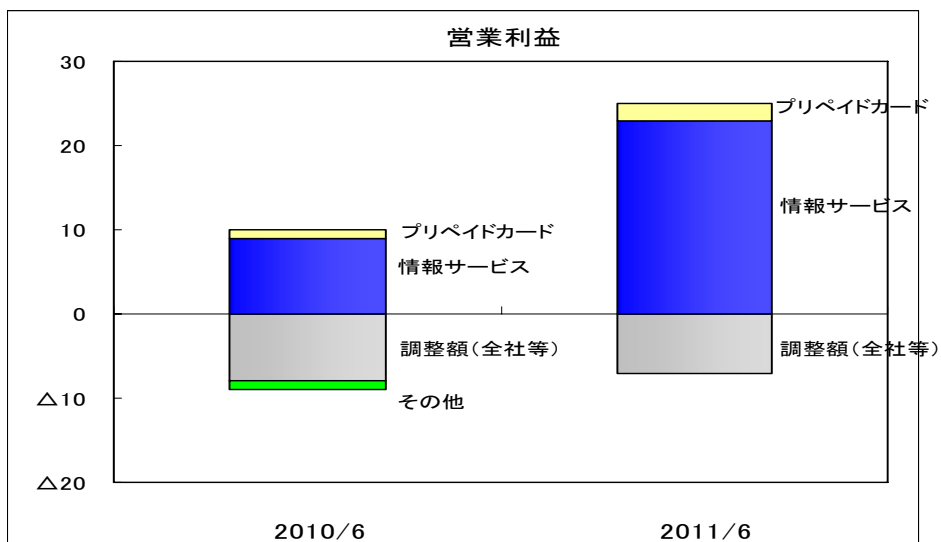
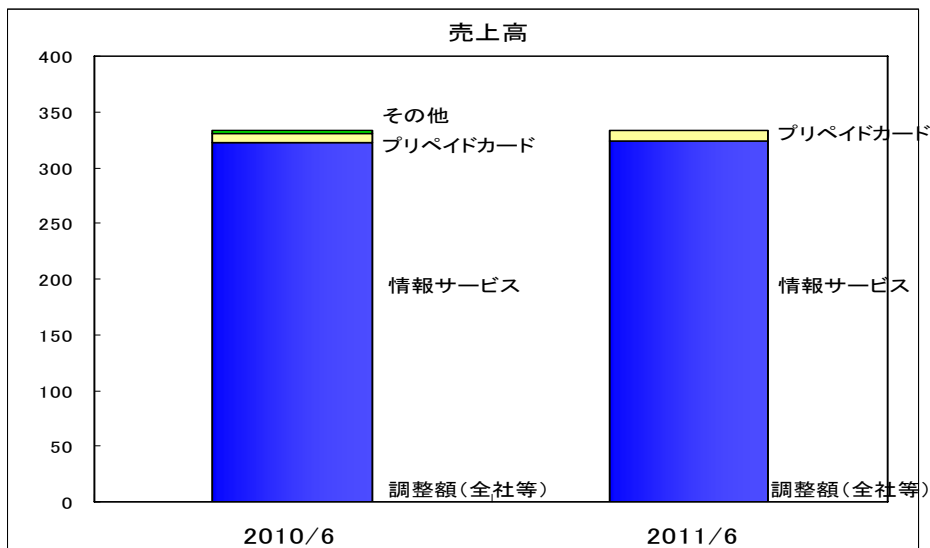
特別利益		2010/6	2011/6	前年同期比	備考
投資有価証券売却益		-	0.0	0.0	-
貸倒引当金戻入額		0.2	-	△0.2	-
その他		0.0	-	△0.0	-
特別利益 計		0.3	0.0	△0.3	
特別損失		2010/6	2011/6	前年同期比	備考
投資有価証券売却損		-	0.2	0.2	資産のスリム化に伴う投資有価証券の売却
証券事業撤退損失		89.0	-	△89.0	前期:証券事業撤退に係る損失
その他		5.0	-	△5.0	-
特別損失 計		94.0	0.2	△93.8	
特別損益 Net		△93.7	△0.2	93.4	

セグメント別業績



(単位:億円)

(単位:億円)



		2010/6	2011/6	前年同期比	増減率
情報サービス					
売上高		322	324	2	0.7%
営業利益		9	23	14	153.0%
プリペイドカード					
売上高		9	9	0	△4.6%
営業利益		1	2	0	30.1%
その他					
売上高		2	-	△2	△100.0%
営業利益		△1	-	1	-
調整額(全社等)					
売上高		△8	△10	△1	-
営業利益		△8	△7	1	-
合計					
売上高		326	323	△2	△0.8%
営業利益		0	17	16	-

※当第1四半期に機構改革を行ったことにより、従来のシステム開発に含まれていたクラウド事業をITマネジメントセグメントへ、ビジネスサービス事業をBPOセグメントへそれぞれ移管しています。なお、前期についても同様の組替えをしています。

※情報サービスは、報告セグメントのうちBPO・ITマネジメント・システム開発を合算したものです。

※前期の「その他」は、ベンチャーキャピタル事業、投資信託委託業等を含んでいます。なお、事業撤退に伴い、当第1四半期の売上高・営業利益ともに実績はありません。

■ 情報サービス

(単位:億円)



		2010/6	2011/6	前年同期比	増減率
BPO	売上高	78	76	△1	△2.2%
	営業利益	1	△1	△2	△219.2%
	営業利益率	1.4%	△1.7%	△3.0%	-
ITマネジメント	売上高	85	92	7	8.8%
	営業利益	4	9	5	131.4%
	営業利益率	4.9%	10.4%	5.5%	-
システム開発	売上高	158	155	△3	△2.3%
	営業利益	3	14	10	275.0%
	営業利益率	2.5%	9.6%	7.1%	-
情報サービス	売上高	322	324	2	0.7%
	営業利益	9	23	14	153.0%
	営業利益率	2.9%	7.2%	4.3%	-

情報サービス : 売上高 +0.7%、営業利益 +153.3%

売上高は微増収ながら、コスト構造の見直しや稼働率の向上により大幅増益。

BPO : 売上高は、検証サービスにおいて、輸送用機器向けが増加するも、コンタクトセンター事業でのコール数の減少等により減収。

営業利益は、コンタクトセンター事業の大型案件の立上げコストや、フルフィルメント事業の設備拡張に伴うコストの増加等により営業損失。

ITマネジメント : データセンターサービスの増加や機器販売案件の獲得に加え、コスト構造見直し等より、増収増益。

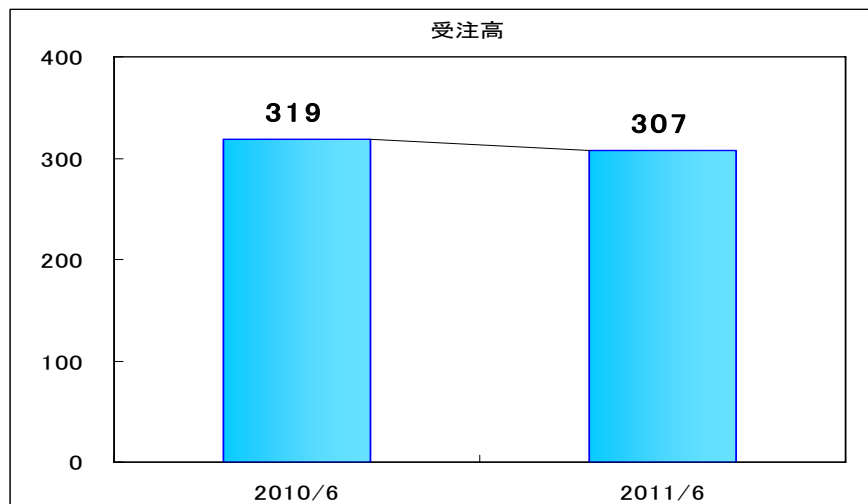
システム開発 : 売上高は、生損保向け増加も、前年同期のカード向け案件の反動等により減収。

営業利益は、証券会社向け事業の再編によるコスト構造の見直しや稼働率向上等により大幅増益。

※当第1四半期に機構改革を行ったことにより、従来のシステム開発に含まれていたクラウド事業をITマネジメントセグメントへ、ビジネスサービス事業をBPOセグメントへそれぞれ移管しています。なお、前期についても同様の組替えをしています。

■ 情報サービス —受注高、受注残高—

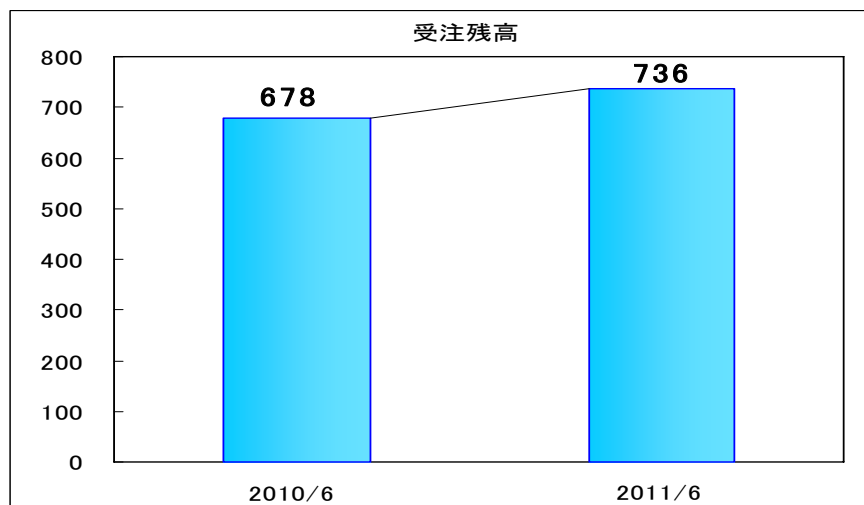
(単位:億円)



(単位:億円)

	2010/6	2011/6	前年同期比	増減率
受注高	319	307	△11	△3.7%
受注残高	678	736	58	8.6%

(単位:億円)



■ 情報サービス ー業種別売上高 (外部売上)ー

(単位:億円)

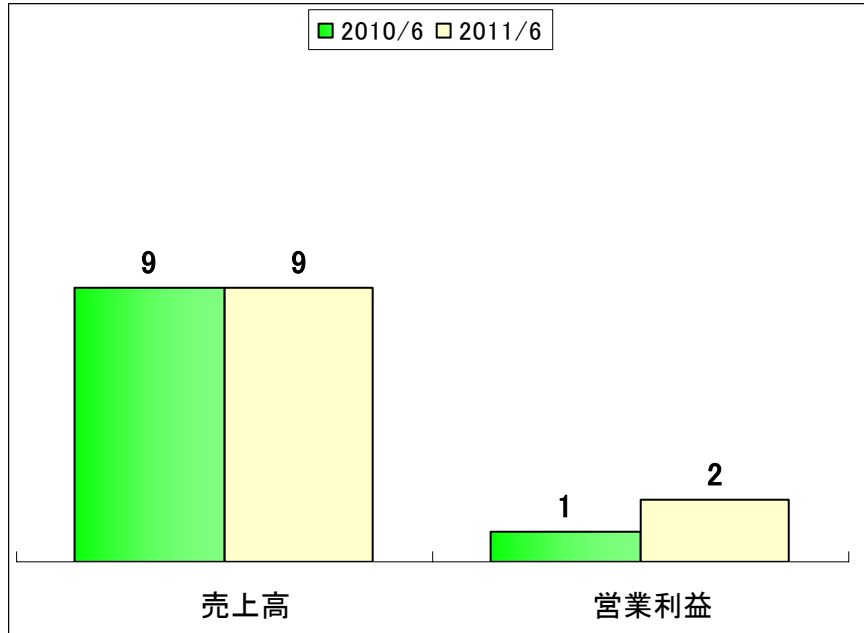
	2010/6	構成比	2011/6	構成比	前年同期比	増減率
金融・保険等	98	31.3%	92	29.4%	△5	△5.9%
電気・精密	37	12.0%	36	11.6%	△1	△2.7%
商社・卸売業・小売業	31	10.1%	30	9.7%	△1	△4.1%
通信	28	9.1%	27	8.9%	△0	△2.9%
サービス	29	9.4%	35	11.2%	5	19.7%
化学・医薬品	19	6.3%	19	6.3%	△0	△0.9%
ソフトウェアベンダー	9	3.0%	8	2.6%	△1	△15.1%
輸送用機器・機械	17	5.6%	24	7.8%	7	41.0%
その他製造	9	3.0%	8	2.8%	△0	△8.3%
建設	5	1.8%	5	1.8%	0	3.9%
運輸・旅行	4	1.3%	3	1.2%	△0	△3.6%
その他	22	7.1%	21	6.7%	△1	△4.9%
合計	314	100.0%	314	100.0%	0	0.2%

※ 業種別売上高は、「BPO」「ITマネジメント」「システム開発」の合算値

■ プリペイドカード、その他

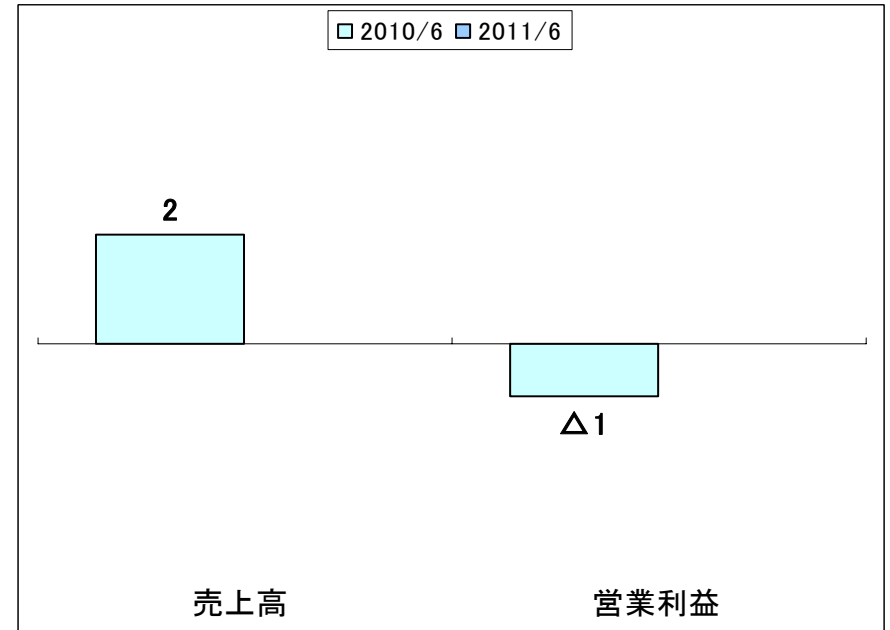
プリペイドカード

(単位:億円)



その他

(単位:億円)



※前期の「その他」は、ベンチャーキャピタル事業、投資信託委託業等を含んでいます。

プリペイドカード : 売上高 Δ 4.6%、営業利益 +30.1%

売上高は、カード運用収益や手数料収入が増加するも、
機器販売が減少し、減収。

営業利益は、カード運用収益が増加し、増益。

その他 :

当第1四半期は、ベンチャーキャピタル事業、投資信託
委託業等から撤退しており、売上、営業利益ともに
実績はありません。

(単位:億円)

	2010/6	2011/6	前年同期比	備考
営業キャッシュ・フロー	2	40	38	不採算事業からの撤退に伴う営業利益の改善等によりプラス
投資キャッシュ・フロー	36	△22	△59	主に投資有価証券の取得による支出によりマイナス
財務キャッシュ・フロー	△113	3	117	長期借入金の返済による支出はあったものの、株式の発行による収入によりプラス
キャッシュ・フロー 計	△74	21	96	換算差額含む
現金及び現金同等物	358	508	149	

有利子負債の残高

(単位:億円)

	残高		増減
	2011/3	2011/6	
借入金	298	273	△25
ユ一口CB	217	217	-
国内CB	350	350	-
返済合計			
有利子負債 残高	866	841	△25

返済計画		
2012/3	2013/3	2014/3
100	100	98
217	-	-
-	-	350
317	100	450
548	448	-

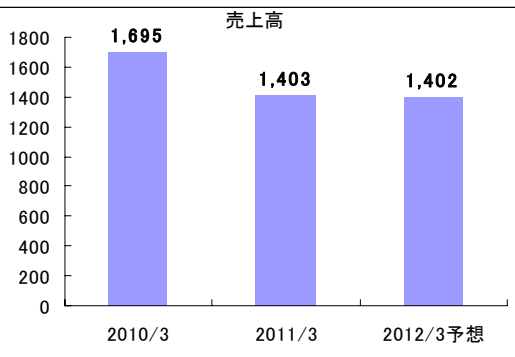
※ CSK単体の有利子負債額

2012年3月期 通期業績予想

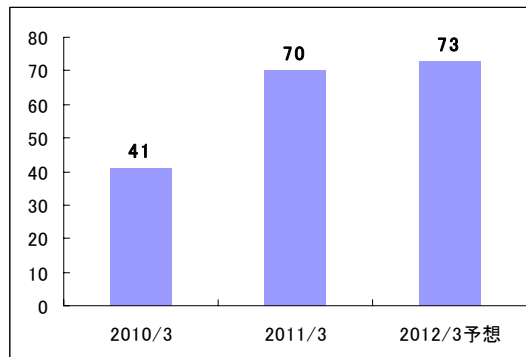


(単位:億円)

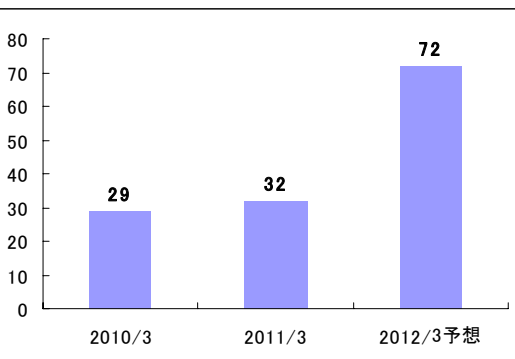
売上高 (単位:億円)



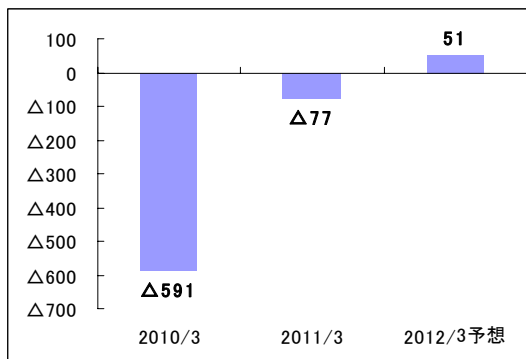
営業利益 (単位:億円)



経常利益 (単位:億円)



当期純利益 (単位:億円)



	2010/3	2011/3	2012/3予想	前期比	増減率
売上高	1,695	1,403	1,420	16	1.1%
営業利益	41	70	73	2	4.2%
営業利益率	2.5%	5.0%	5.1%	0.2%	-
経常利益	29	32	72	39	121.3%
当期純利益	Δ591	Δ77	51	128	-

(単位:円)

	2010/3	2011/3	2012/3予想	前期比
1株当たり利益	Δ720.62	Δ61.26	29.64	90.90

2012/3月期 連結業績予想

・わが国経済の先行きが不透明な中、厳しい受注環境にあるものの、当第1四半期連結累計期間においては、業績は各セグメントともに予定通り推移しております。

・また、前期より取り組みを推進しております事業構造・原価構造の抜本の見直し、販売費及び一般管理費の適正化、資産のスリム化の実施等の効果が着実に表れており、安定的に収益を生み出す体質への転換が進んでおります。

・なお、平成23年5月12日公表の業績予想からの変更はありません。